

広範囲型2号消火栓 について - 西日本防災システム



参考資料

各消火栓の包含水平距離 m

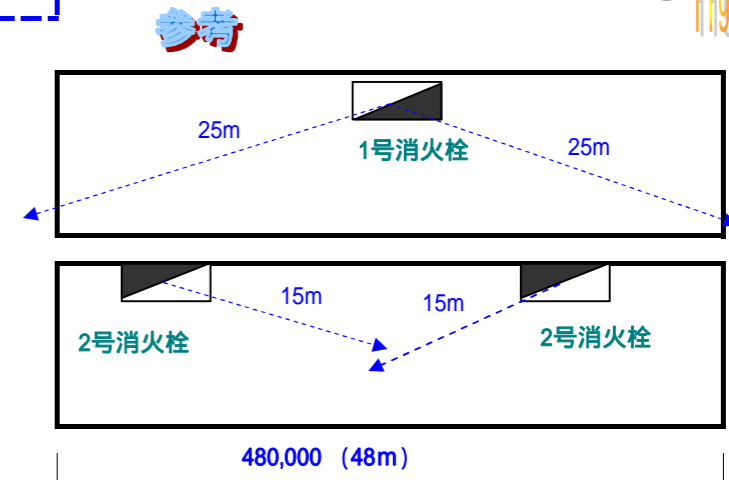


消防法で定められた 防火対象物の各部分との離隔距離です

実際に放水可能な距離ではありません!

POINT

表でお分かりのように 2号消火栓 は扱い易いのですが、1栓の包含半径が 10mも狭いんです!



図のように1号消火栓なら1栓でカバーできる区域が2号消火栓に変えようとするならば2栓必要でした。

易操作性1号消火栓 は、包含範囲は同じですが、収納箱が随分大きくなります。

ですが!

新登場!

広範囲型2号消火栓

このような理由で 既設の防火対象物で、1号消火栓を 操作が簡単な2号消火栓や 易操作1号消火栓に入れ替えることは 難しいことでした。

平成25年10月1日 広範囲2号消火栓 が登場しました。 アスピレートノズルが開発され、今までのように ポンプ性能や消火栓箱入れ替えの際の、手間の簡略化が期待できます。 但し設置対象として、可燃物が大量に置かれる倉庫や、工場には設置できません。



25m を包含する事ができるようになりました。

広範囲型2号消火栓



- このアスピレートノズルはノズルの根元に空気孔があり、空気と水を混合させるスリーブが装着されています。
- そのため放水時に水と空気の混合により発生する飛沫粒子が非常に微小で、中空になりにくい特徴があります。
- この微小な粒子によるアスピレート放水は棒状放水と噴霧状の放水の中間に位置する放水形状となって、火元を効果的に包含し消火するものです。



アスピレートノズルにより、消火栓の増設や、既設の消火栓の改修工事をせずに、入れ替えが可能になりました

